特殊講義２［福祉と女性］〈C02A〉

※ 2021 年度をもって閉講

配当年次	全学年
授業科目単位数	4
科目試験出題者	廣岡 守穂
文責（課題設題者）	廣岡 守穂
教科書	指定 廣岡 守穂『ジェンダーと自己実現』［初版］以降（有信堂高文社）

《授業の目的・到達目標》

現実の実態を理解することを重視します。ですから教科書や参考文献を読んだりするだけでなく、できる範囲で結構ですから自分自身が福祉の現場を体験したり、NPO の活動状況を調べたりしていただきたいと思います。福祉と女性は実践的なテーマです。どうか自分自身のこととして学習に取り組んでください。

《授業の概要》

テーマは福祉と女性とNPO です。1997 年に介護保険法が成立し、98 年には特定非営利活動促進法（NPO 法）が、さらに 99 年には男女共同参画社会基本法が成立しました。同じ時期に３つの分野についての基本的な枠組みができました。たいへん身近な、しかも変化の激しい分野です。

３つは密接に関連しています。

日本は世界で最も高齢化した国であり、高齢者福祉は日本人が真剣に取り組まなければならない重要な課題になっています。高齢社会問題は良くも悪くも女性問題です。現実に介護をおこなっているのは多くが女性です。参加型福祉がたいへん重要になっていますが、そのかなめをなすのは NPO（非営利団体）です。

日本は世界的にみて非常に男性優位の社会です。国連開発計画の人間開発指標や世界経済フォーラムのジェンダー・ギャップ指数をみると、それがはっきりとみてとれます。女性の社会参画をすすめることは、わたしたちにとって重要な課題です。男女共同参画の課題はきわめて広い範囲にまたがっており、最近では同性婚など性的マイノリティの問題が注目をあつめています。

NPO もホットなテーマです。NPO 法が成立して以来、法人格をもつ NPO がどんどんふえています。これからの社会は福祉の面でも、地域活性化の面でも、デモクラシーの面でも、市民の自発的な活動ぬきには考えられなくなるでしょう。

３つのテーマを結びつけているのは、エンパワーメント、自己実現、潜在能力（ケイパビリティ）といった概念です。自己実現をめざす人を行政はどのようにささえるべきか。その人の潜在能力をどのようにして高め、どのようにして開花させるか。理論と実践の両方から迫ります。

《学習指導》

福祉、女性、NPO の分野で、身近なところにどんな活動がおこなわれているか、どんな問題があるかを、常に意識してください。

また教科書が扱っている内容は、女性学、福祉、政治哲学、心理学、教育学、社会学など、かなり広い範囲にわたります。また男女共同参画を推進する国や自治体の施策や事業を取り上げています。

《成績評価》

試験（科目試験またはスクーリング試験）により最終評価する。